2026年10月16日（水）
国立大学法人岡山大学
10月定例記者会見（学長発表）

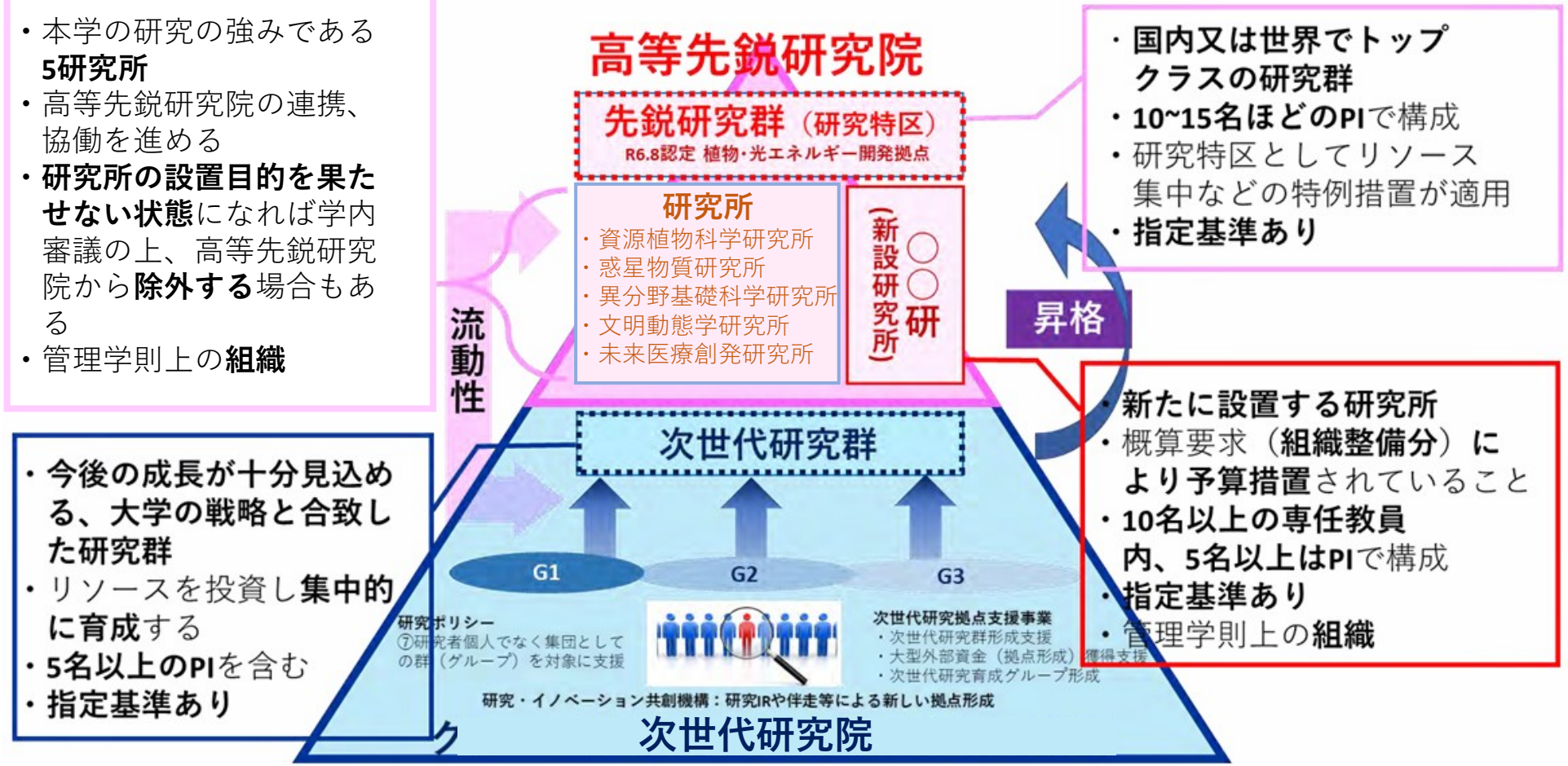
岡山大学次世代研究院 次世代研究群の認定と取組について

「難治性免疫炎症疾患に対する患者検体駆動型・モダリティ横断型創薬・臨床実装拠点」
「ゼロエミッション社会を実現するナノグリーンマテリアル拠点」　指定

国立大学法人岡山大学 学長・高等先鋭研究院 院長　那須　保友
副理事（研究・産学共創総括担当）・副学長（学事担当）・上級URA・次世代研究院 院長　佐藤　法仁
学術研究院 医療開発領域（岡山大学病院） 腎臓・糖尿病・内分泌内科 研究教授　松本　佳則
学術研究院 環境生命自然科学学域（工） 研究教授　寺西　貴志
学術研究院 教育研究マネジメント領域（研究・イノベーション共創機構） 准教授　嵯峨山 和美
研究・イノベーション共創機構 上級URA　佐藤　浩哉

1. 岡山大学高等先鋭研究院システム

- 本学の研究の強みである**5研究所**
- 高等先鋭研究院の連携、協働を進める
- **研究所の設置目的を果たせない状態**になれば学内審議の上、高等先鋭研究院から**除外する**場合もある
- 管理学則上の**組織**



- 国内又は世界でトップクラスの研究群
- 10~15名ほどのPIで構成
- 研究特区としてリソース集中などの特例措置が適用
- **指定基準あり**

- **今後の成長が十分見込める、大学の戦略と合致した研究群**
- リソースを投資し**集中的に育成**する
- **5名以上のPI**を含む
- **指定基準あり**

- **新たに設置する研究所**
- 概算要求（**組織整備分**）**により予算措置**されていること
- **10名以上の専任教員内、5名以上はPI**で構成
- **指定基準あり**
- 管理学則上の**組織**

単なる組織としての「箱」ではなく、卓越性からイノベーション創出、実績に応じた評価と流動性を兼ね備えた強化・育成の「システム」を構築

〇補足
次世代研究院は、2024年度まで「グローバル最先端異分野融合研究機構（G研究機構）」という名称でした。2025年度から改称しました。

【参考】岡山大学 J-PEAKSMONTHLYDIGEST Vol.9（2024.12）
https://www.okayama-u.ac.jp/up_load_files/freetext/J-PEAKS/file/vol9.pdf

1. 岡山大学高等先鋭研究院システム

岡山大学では、強みの研究群（グループ）を構造的に育成するため、「**高等先鋭研究院システム**」を、文部科学省の「**地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）**」（実施主体：日本学術振興会）を機に構築しました。

全体を第1レイヤー「**高等先鋭研究院**」と第2レイヤー「**次世代研究院**」の2階層で構成。第1レイヤーの高等先鋭研究院は、本学を代表する強みの研究領域と位置付け、本学5研究所と、極めて高い研究アクティビティを発揮する国内または世界でトップクラスの研究群である『**先鋭研究群**』で構成します。

先鋭研究群は、学内の研究特区として規程の弾力運用や管理的業務の負担軽減など、研究者の研究専念環境の構築を強力に推進します。

第1レイヤーと第2レイヤーは、研究IRによる入替制を採用し、研究群の切磋琢磨と新陳代謝（流動性）を促すことを通じ、卓越した研究成果をコンスタントに創出することを目指す**わが国初のシステム**です。

【参考】文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」に採択～地域と地球の未来を共創し、世界の革新の中核となる研究大学：岡山大学の実現を加速とともに世界に誇れる我が国の研究大学の山脈を築く～

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12723.html

https://j-peaks.orsd.okayama-u.ac.jp/

2. 岡山大学高等先鋭研究院システム：次世代研究院



高等先鋭研究院 院長
那須保友 学長

昇格

高等先鋭研究院

次世代研究群

- ✔ 次世代研究院の中には様々なレベル・規模感の研究グループがある。
- ✔ それぞれのフェーズに適した支援事業にて強みの研究群の育成を図る。



次世代研究院 院長
佐藤法仁副理事・副学長・上級URA

次世代研究群形成支援

グループ1　グループ2

・既に大型外部資金（拠点形成）の実績がある研究グループを対象に、次世代研究院のTOPである次世代研究群の指定を目指す活動を支援。

大型外部資金獲得支援（拠点形成）

グループ3　グループ4　グループ5　グループ6

・組織や分野の壁を越え、国が戦略的に進める戦略的創造研究推進事業、革新的先端研究開発支援事業、科研費の拠点形成型事業等の獲得による拠点形成にむけ、大型外部資金の申請を目指すグループを支援。

次世代研究グループ形成支援

・個人研究レベルから集団としての研究プロジェクトを対象に、研究グループ、拠点の立ち上げ・組成を支援。

次世代研究院

2. 岡山大学高等先鋭研究院システム：次世代研究院

高等先鋭研究院システムの土台となる第2レイヤー「次世代研究院」では、新たな研究群（グループ）の育成を段階的に進めます。

次世代研究院には、様々なレベル・規模感の研究グループがあります。

「次世代研究グループ形成支援事業」：個々の研究者から研究グループの組成を促す

「大型外部資金獲得支援事業（拠点形成）」：ある程度の活動実績や規模感を有する研究グループを対象に大型外部資金獲得申請に向けた活動を支援する

「次世代研究群形成支援事業」：既に大型外部資金（拠点形成）の獲得実績がある研究グループを対象に次世代研究院のTOPに位置付ける『次世代研究群』の指定を目指す活動を支援する

など、研究グループのフェーズに応じた支援メニューを活用し、段階的な育成を実施。

「次世代研究群」は、今後の成長が十分に見込めること、さらに岡山大学の戦略と合致した研究群と定義し、指定の基準を明確に定めています。次世代研究群は、他の研究群との融合・協働等を通じ、第1レイヤーの「高等先鋭研究院」に昇格することを目指します。

令和8年度指定　次世代研究群

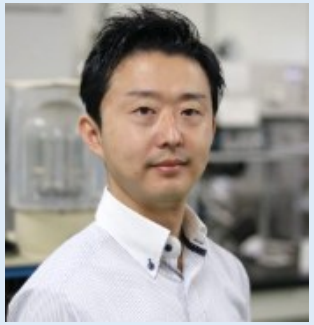
難治性免疫炎症疾患に対する患者検体駆動型・モダリティ横断型 創薬・臨床実装拠点

代表者：松本佳則　研究教授　医療開発領域（岡山大学病院）
プロジェクトマネージャー：嵯峨山 和美　准教授　教育研究マネジメント領域



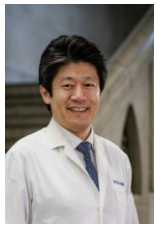
ゼロエミッション社会を実現するナノグリーンマテリアル拠点 ～Zero-Emission Nano Green-materials at Okayama-U (ZEN-GO)～

代表者：寺西　貴志　研究教授　環境生命自然科学学域（工）
プロジェクトマネージャー：佐藤　浩哉　上級URA　研究・イノベーション共創機構



令和7年度指定の次世代研究群

難治・希少がんに対する再生・細胞医療・遺伝子治療拠点
（代表者：田中 將太 教授　学術研究院医歯薬学域）



【参考】岡山大学次世代研究院の次世代研究群の認定式を開催～地域中核・特色ある研究大学として世界をリードする難治・希少がん治療の実現に向けて～

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id14878.html

岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY

令和8年度
岡山大学次世代研究院　次世代研究群

J-PEAKS

難治性免疫炎症疾患に対する患者検体駆動型・モダリティ横断型創薬・臨床実装拠点

学術研究院 医療開発領域	腎臓・糖尿病・内分泌内科	松本佳則
学術研究院 医歯薬学域（医）	腎・免疫・内分泌代謝内科学	和田　淳
学術研究院 医歯薬学域（医）	消化器・肝臓内科学	大塚基之
学術研究院 先鋭研究領域（未来医療）	病態生理・創薬学分野	中山雅敬
学術研究院 先鋭研究領域（未来医療）	細胞生物学分野	阪口政清
学術研究院 先鋭研究領域（未来医療）	薬理学分野	細野祥之
学術研究院 医療開発領域	運動器疼痛センター	西田圭一郎
学術研究院 教育研究マネジメント領域（研究・イノベーション共創機構）		嵯峨山和美

拠点概要

- 難治性免疫炎症疾患に共通する創薬標的である3BP2研究において、国内最多・世界有数の知見を有する
- 臨床・バイオバンク基盤、独立創薬シーズ、患者検体解析、疾患モデル、臨床開発・知財支援を結合し、実働型Bench to bedside研究群を形成
- 標的依存性シグネチャー予測モデルにより、患者層別化と個別化医療を見据えた非臨床PoCを取得
- 岡山大学病院の臨床研究中核病院機能、新医療研究開発センター、CMA-Okayamaからなる本学の臨床実装基盤を活用して、治験、企業導出、スタートアップへ接続
- 10年後には、世界トップクラスの創薬・臨床実装拠点への発展を目指す

【参考】岡山大学病院
https://www.okayama-u.ac.jp/user/hospital/

【参考】新医療研究開発センター
https://shin-iryo.hospital.okayama-u.ac.jp/

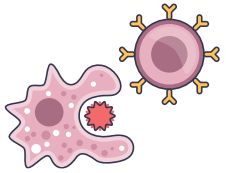
【参考】岡山大学病院　臨床研究中核病院
https://www.okayama-u.ac.jp/user/hospital/index13.html

岡山大学病院 OKAYAMA UNIVERSITY HOSPITAL 1870

臨床研究中核病院

患者検体駆動型 モダリティ横断型の難治性免疫炎症疾患創薬・臨床実装研究群

出発点



創薬困難標的3BP2を
共通治療標的とする
創薬構想



難治性免疫炎症疾患の
新たな治療選択肢へ

Feasibility Study（FS）期間での進展（新規モダリティ開発）

●3BP2-阻害薬

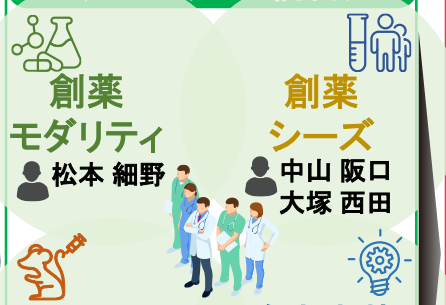


構造最適化

非臨床試験

他標的への展開

有望シーズを有する実動型研究群再編（4ユニットで統合）



次世代研究者も参画

実働型
Bench to bedside
研究群

共通評価基盤

- バイオバンク検体
- 手術検体
- 疾患モデルマウス
- 薬効・安全性評価
- シグネチャー予測モデル構築
- 治療薬対象患者絞り込み

Bench to bedside

非臨床PoC
↓
特定臨床研究
↓
医師主導治験
↓
企業治験

岡山大学病院
新医療研究開発センター



CMA-Okayama
（瀬戸内治験ネットワーク）

10年後の未来像・到達目標

- 候補薬
- 特許
- 企業共同研究
- 大学発スタートアップ
- 個別化医療

岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY

令和8年度
岡山大学次世代研究院　次世代研究群

J-PEAKS

ゼロエミッション社会を実現するナノグリーンマテリアル拠点
～Zero-Emission Nano Green-materials at Okayama-U (ZEN-GO)～

学術研究院 環境生命自然科学学域(工)	寺西貴志
学術研究院 先鋭研究領域(異分野基礎)	仁科勇太
学術研究院 環境生命自然科学学域(工)	林靖彦
学術研究院 環境生命自然科学学域(工)	渡邉貴一
学術研究院 環境生命自然科学学域(工)	鈴木弘朗
学術研究院 ヘルスシステム統合科学学域	紀和利彦
学術研究院 先鋭研究領域(異分野基礎)	三澤弘明
学術研究院 先鋭研究領域(異分野基礎)	斗内政吉
学術研究院 環境生命自然科学学域(工)	福田伸子

拠点概要

- 岡山大学を牽引するGX（Green Transformation）ナノマテリアル研究拠点を形成
- ①低炭素ナノエネルギー材料、②機能性ナノカーボン材料、③次世代ナノエレクトロニクス材料、④ナノマテリアル先端計測の4分野を推進・融合することで、革新的シーズを創出し、世界トップレベルの高性能GXナノ材料創製を実現
- ゼロエミッション社会の実現に向け、ナノグリーンマテリアル創製—先端計測—デバイス化—社会実装を一気通貫で推進
- 研究成果創出のみならず、社会実装・国際連携・若手育成を統合した「岡山大学GXナノマテリアル研究ハブ」として本格展開

【参考】Zero-Emission Nano Green-materials at Okayama-U (ZEN-GO)
https://www.aemt-lab.com/zen-go

ZEN-GO

4. ゼロエミッション社会を実現するナノグリーンマテリアル拠点

4研究分野

1 低炭素ナノエネルギー材料

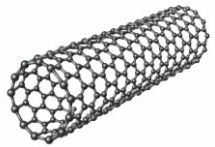
寺西 貴志
渡邉 貴一
三澤 弘明



- 全固体電池
- イオン伝導性材料
- グリーンケミストリー

2 機能性ナノカーボン材料

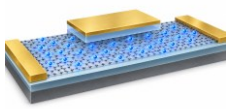
仁科 勇太
林　靖彦



- グラフェン，CNT
- 熱電材料
- 資源循環材料
- ダイレクトリサイクル

3 次世代ナノエレクトロニクス材料

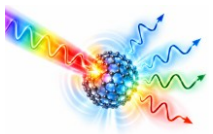
鈴木 弘朗
斗内 政吉



- 2次元半導体（2D材料）
- AI半導体，低消費電力デバイス
- IoT, 次世代エレクトロニクス

4 ナノマテリアル先端計測

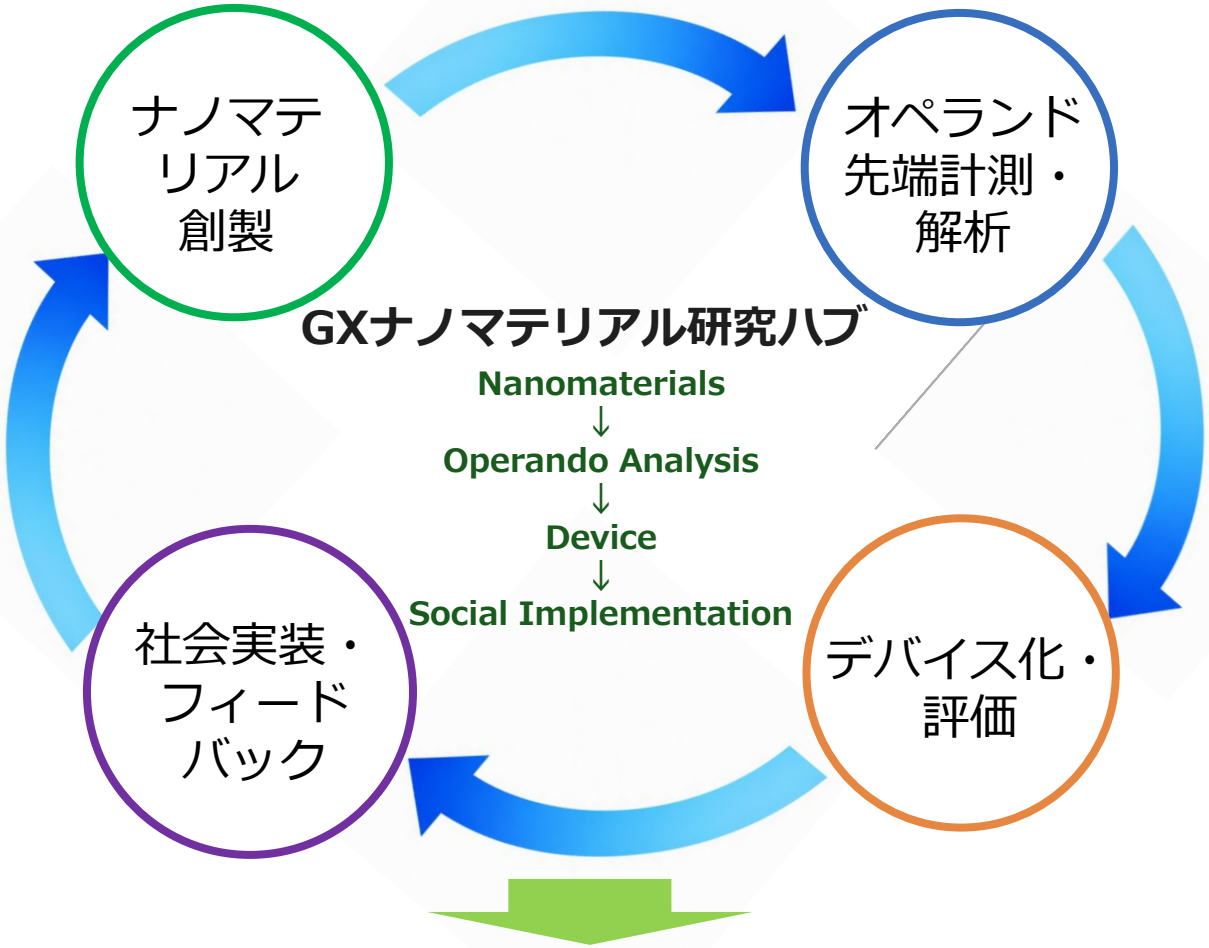
紀和 利彦
福田 伸子



- THz, オペランド解析
- プラズモニクス
- 表面分析・構造解析

ナノマテリアル創製 → オペランド先端計測 → デバイス化 → 社会実装

GX社会・カーボンニュートラルの実現へ



国際連携・若手育成への展開，優れた研究成果・KPI



国立大学法人岡山大学
第15代学長（第5代法人の長）
那須　保友

地域中核・特色ある研究大学 岡山大学が拓く今と未来

OKAYAMA UNIVERSITY × SDGs

J-PEAKS

私たちは大学が地域と地球の未来を共創し、世界を変革させ、
持続可能な社会を実現させる“力”があることを信じています

【本件問い合わせ先】
岡山大学　研究･イノベーション共創管理統括部
〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学津島キャンパス 本部棟
TEL：086-251-7092
E-mail：innovation◎adm.okayama-u.ac.jp

岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY